

National Clinical Databaseを用いた研究に関して

東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座はNational Clinical Database (NCD)を基盤とした「NCDを用いた医療の質向上と資源利用の最適化に関する研究」に参加しております。

【研究課題】

NCDを用いた医療の質向上と資源利用の最適化に関する研究（審査番号：11687）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関	東京大学大学院医学系研究科	医療品質評価学講座
研究責任者	東京大学大学院医学系研究科	保健社会行動学教授 橋本英樹
担当業務	データ解析	

【共同研究機関】

研究機関	一般社団法人National Clinical Database
研究責任者	代表理事 岩中 督
担当業務	データ提供

【研究期間】

2017年10月16日 ～ 2022年6月30日

【対象となる方】

2001年1月1日～2022年6月30日の間に全国のNCD参加施設にて加療された方

【研究の意義】

持続可能な医療供給体制を維持するために、医師の適正配置や限られた資源の効果的な使用に向けて、医療提供体制のいっそうの整備・改善が必要である。そのためには、全国において実施される医療を体系的に把握し、地域や個々の施設における臨床成績の評価やベンチマーキングを通じた質の改善、実臨床データを用いたアウトカム分析や費用対効果分析などが基盤となる。

【研究の目的】

NCDに参加する各専門領域のレジストリデータを用いて、学会との協働のもと、医療の質の評価、臨床研究、政策研究を実施し、日本における医療の質の向上や医療資源の適正配置につながるエビデンスを創出する。また、データフィードバックを通して臨床現場の自律的な医療の質向上へ働きかけ、データベースの質の評価や改善に取り組む。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。NCDに登録された手術やインターベンション、症例情報などのデータを用いてNCDに参加する基盤学会主導のもと、提案

された研究テーマについて、統計解析を行いません。NCDからは匿名化された電子症例情報が記録媒体に保存された形で提供されます。データには、具体的には、手術術式、症例基本情報（患者さんの年齢、性別、身長体重、喫煙歴など）、術前情報（併存疾患、既往歴、術前検査値など）、術中情報（手術時間、手術の詳細、使用機材など）、術後情報（術後合併症、術後在院日数、術後集中治療ユニット利用日数、退院時状態など）などが含まれます。

【個人情報の保護】

あなたの情報は、各研究参加医療機関からNCDに登録され保存されますが、登録されるデータは氏名、住所、カルテ番号などの個人を識別する情報を含みません。データは、各症例に新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、NCDに登録されます。NCD、当研究室いずれにおいても、上記の符号を元の氏名等に戻すことはできませんし、容易に個人を特定することもできません。

NCDから提供され、当講座で解析されるデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。NCDから当研究室へは記録媒体に保存された形でデータが提供され、解析担当者のパスワードロックをかけた解析用パソコンで厳重に保管されます。データは、データ移動に用いた記録媒体からデータ移動後ただちに消去します。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会発表や論文の形でとして公開されます。使用したデータは厳重な管理のもと、解析終了後に消去されます。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医療品質評価学講座の運営費から支出されています。社会連携講座であるこの講座の講座設置および共同研究費は8月1日現在、一般社団法人National Clinical Databaseから出資されています。研究の費用に関する情報はすべて東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

2017年10月

【問い合わせ先】

東京大学医療品質評価学講座 特任講師 隈丸 拓
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-5800-9121 FAX：03-5800-9121
Eメールでのお問い合わせ：hqa-adm@umin.ac.jp